

平成24年度

高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る事業報告

基本目標 1. 子育て家庭への支援

主要課題 1. 子育て相談の充実・情報機能の強化

項目	担当課	取り組み
①	家庭児童相談室	相談員2人（8月から3人）を配置し、ケース検討会議、訪問調査指導、関係機関調整等、相談体制の充実を図った。
		<p>（評価）虐待防止対策強化事業で、相談の増員により家庭児童相談室の体制充実を図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会議 50件 ・訪問調査指導 118件、延べ 182件 ・関係機関調整 487件、延べ 2394件
	地域子育て支援拠点事業	<p>地域の子育ての拠点として保育所、公民館を活用し、体験保育・すこやかグループを通して子育てサークルの育成を図り、子育て全般に関する支援を行うなど、地域の子育て支援機能の充実を図った。</p>
		<p>（評価）体験保育を4箇所を増やし、子育てサークルの育成を図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験保育は4箇所の保育所で実施 延べ1,962人 ・すこやかグループ 親子60組 134人 延べ1,338人
スクールカウンセラーの配置	学校教育課	<p>県配置校以外の6小学校を対象に市単独でスクールカウンセラー（SC）を1人配置し、児童及び保護者の相談に応じた。</p> <p>（評価）急を要する相談にも対応できている。</p> <p>（回数・人数等）県SCも含め市内小学校10校の相談件数は284件</p>
適応指導教室の充実	学校教育課	<p>適応指導教室（のびのび教室）において、不登校児童生徒の学校復帰・社会自立に向けた支援を行った。</p> <p>（評価）校内別室登校との併用も図れている。</p> <p>（回数・人数等）通級児童生徒数 13人</p>

①	相談体制の充実	健康増進課	<p>心理士等専門職による保育所等への巡回相談や保育所等職員への相談を行うことにより発達に気になる子どもへの支援を行った。</p> <p>(評価) 2年目の事業となり、保育所との連携もこの事業のみだけでなく、随時、子どもへの対応を相談できる体制の充実を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子教室17回 32件 巡回相談39回 129人
		児童福祉課	<p>プロフィールファイルたかさごを生まれた子ども等の保護者に配布した。</p> <p>(評価) 子どもの成長を記録するツールとして配布し、発達障がい等の早期発見に繋がる環境整備を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) 597件</p> <p>※こんにちは赤ちゃん事業の配布数を含む。</p>
		学校教育課	<p>電話相談や面談で、子どもや保護者の様々な問題や、悩み等について相談に応じた。</p> <p>(評価) 園・学校・関係機関とも連携を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) 電話150件 面接35件</p>
		青少年育成課 (青少年補導センター)	<p>広報たかさご等で少年相談の啓発を行い、子どもの問題行動やいじめの問題等について相談に応じた。</p> <p>(評価) 相談者に対しては、心に寄り添う相談を行えた。</p> <p>(回数・人数等) 21件</p>
②	子育て支援ネットワークづくり	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>子育て支援センターを拠点として、子育てサークルや子育て関係機関との連携を図りながら、子育て支援ネットワーク活動の安定した継続を図った。</p> <p>(評価) サークル構成員は減少しているが、体験保育により新たなサークルが立ち上がった。</p> <p>(回数・人数等) サークル37団体 登録733人</p>
	子育て情報の提供		<p>子育て支援センターにおいて、啓発情報誌「すこやか」「あそぼ」「子育てサークル紹介」「子育て応援情報」を発行した。</p> <p>(評価) 子育てに関する情報誌を関係機関と連携して作成し、継続的に発行することで、子育て情報を提供できた。</p> <p>(回数・人数等) 「すこやか」年3回、「あそぼ」年9回、「子育て応援情報」年1回発行</p>

主要課題2. 子育てにかかる経済的負担の軽減

項目	担当課	取り組み	
①	児童手当の給付	<p>中学校3学年までの子育て家庭に児童手当を給付した。</p> <p>〔評価〕子育て家庭を経済的に支援することができた。</p> <p>〔回数・人数等〕受給者 7,356人</p>	
	就学援助の給付	<p>就学困難と認められる小・中の児童生徒の保護者に対して学用品などの就学費用の一部を援助した。</p> <p>〔評価〕保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>就学援助認定者数 小学校916人、中学校570人</p>	
	乳幼児等医療費の助成	国保医療課	<p>0歳から小学3年生までの乳幼児等に対し、医療費の一部負担金の全額助成（無料）を行った。</p> <p>〔評価〕保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕乳幼児等受給者数 7,327人</p>
			<p>（子ども医療費の助成）</p> <p>小学4年生から6年生の入・通院、中学1年生から3年生の入院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>〔評価〕保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕こども受給者数 1,777人</p>
	保育所保育料の軽減	児童福祉課	<p>保護者負担に配慮し、保育料の軽減及び減免措置を行った。</p> <p>〔評価〕離職や離婚により経済的負担が重くなった保護者に対して効果があった。</p> <p>〔回数・人数等〕34人</p>
	幼稚園保育料の軽減	学務課	<p>就園困難と認められる園児について、幼稚園保育料の減免を実施した。</p> <p>〔評価〕保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕 23人</p>
	学童保育所保育料の軽減	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>母子世帯などの低所得者層を支援し、保育料の減免補助を行った。</p> <p>〔評価〕今年度は対象家庭が減少したが、事業を継続して実施したことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全額免除 延べ69人 ・半額減免除 延べ12人

①	高等学校奨学金の給付	学務課	経済的な理由で高等学校への修学が困難な者に対して奨学金を支給した。
			<p>(評価) 保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <p>124人、8,000円×1,433か月</p>

主要課題3. 育児不安の軽減と児童虐待発生予防の推進

項目	担当課	取り組み
① 子どものこころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減	健康増進課	<p>母子保健推進員等が未受診児家庭を訪問し受診勧奨を行った。また育児相談等に応じる体制をとった。</p> <p>(評価) 未受診児家庭を訪問することにより受診勧奨へのきっかけづくりや育児について随時話ができており不安軽減につながっていると考える。</p> <p>(回数・人数等) 随時200件</p>
	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>つどいの広場や育児と遊びの訪問事業(遊びのキャラバン)を実施し、遊びの提供や子育てについて話し合える場を設け、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消を図った。</p> <p>(評価) つどいの広場を週3回開催し、昨年度と比べて参加者は375人増加した。育児不安の解消の場として、活用できている。</p> <p>(回数・人数等)</p> <p>つどいの広場 136回 延べ4,770人 遊びのキャラバン 31回 延べ527人 おはなしルーム 24回 延べ526人</p>
② 児童虐待防止ネットワークづくり	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>関係機関と密接な連携を図るとともに要保護児童対策地域協議会の効率的な運営を図った。</p> <p>(評価) 要保護児童対策地域協議会の効率的な運営のため、講師を招き研修会を実施し、児童虐待防止に関してより深い知識を共有することができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者会 4回開催 ・ケース検討会議 50回開催 ・要対協研修会 2回開催

	児童虐待防止ネットワークづくり	学校教育課 (再掲)	幼稚園、小・中学校が虐待相談窓口となり、関係機関との連携・調整を行うとともに、虐待防止の予防的な啓発を行った。 (評価) 園・学校・関係機関とも連携を図ることができた。 (回数・人数等) 電話 150 件 面接 35 件
		健康増進課	要保護児童対策会議に参加し、関係機関との連絡・調整を行うとともに、虐待防止の予防的な啓発を行った。 (評価) 子育て支援センターと連携しながら児童虐待防止のネットワークづくりが推進されている。
②	虐待防止のための県との連携強化	児童福祉課 (子育て支援センター)	関係機関と密接な連携を図るとともに中央こども家庭センターとの連携を図った。 (評価) 代表者会の開催時期、要保護児童ケース等で、中央こども家庭センターと連携を図ることができた。 (回数・人数等) 要保護児童対策地域協議会代表者会 1 回、実務者会 4 回開催
		学校教育課	虐待の恐れのある場合に、子育て支援センターや中央こども家庭センターへの連絡を行った。 (評価) 園・学校・関係機関とも連携を図ることができた。 (回数・人数等) 実務者会議 (年 4 回) に出席
	要保護児童セーフティネットの強化	児童福祉課 (子育て支援センター)	要保護児童対策会議に参加し、関係機関との連絡・調整を行うとともに、虐待防止の予防的な啓発を行った。 (評価) 要対協関係職員の研修会実施により、要保護児童セーフティネットの強化を図ることができた。 (回数・人数等) ケース検討会議 50 回開催
③	被虐待児童のケアと立ち直り支援	児童福祉課 (子育て支援センター)	臨床心理士による子育て相談を実施した。 (評価) 1 日 3 組の相談枠があるが、相談件数が減少した。虐待予防の啓発の成果が表れている。 (回数・人数等) 22 回 43 組 延べ 75 人

主要課題4. 子どもの人権尊重

項目	担当課	取り組み
① 「児童の権利に関する条約」の啓発	児童福祉課 人権推進室	<p>「児童の権利に関する条約」の啓発の一環として、子どもへの暴力防止の学習・啓発事業（CAP）を、市内保育所の園児、保護者を対象に実施した。みのり会館だより9月号に「児童の権利に関する条約」についての記事を掲載した。</p> <p>〔評価〕今年度からの取り組みのため、対前年度の比較はできない。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>CAP 園児対象 4回 81人 保護者対象 3回 70人 みのり会館だよりでの啓発 1回</p>

主要課題5. ひとり親家庭への支援体制の充実

項目	担当課	取り組み
① 相談活動	児童福祉課	<p>ひとり親家庭等への母子自立支援員による相談活動の充実を図った。</p> <p>〔評価〕取組の結果、昨年度と比べ相談件数が90件増加しており、一定の効果を上げている。</p> <p>〔回数・人数等〕920件</p>
児童扶養手当の給付	児童福祉課	<p>ひとり親家庭等の生活支援・自立促進のため、手当の給付及び制度の啓発に努めた。</p> <p>〔評価〕DV被害者に関して、受給要件が緩和され、より支援対象が拡充できた。</p> <p>〔回数・人数等〕911人</p>
② ひとり親家庭への支援サービス	児童福祉課	<p>ひとり親家庭の就業・自立に向けた総合的な支援として、自立支援教育訓練給付金等の助成、ひとり親家庭等家事支援事業の助成を行った。</p> <p>〔評価〕昨年度に比べ、家庭支援事業の利用者、訪問回数は増加しており、徐々にひとり親家庭を支える制度として浸透してきたといえる。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>ひとり親家庭等家事支援事業6件 訪問回数154回</p>

③	母子家庭等医療費の助成	国保医療課	<p>母子（父子）家庭の母（父）及びその児童、並びに遺児を対象として、医療費に係る一部負担金の助成を行った。</p> <p>（評価）保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）受給者数 1,891人</p>
	母子援護事業	児童福祉課	<p>保護の必要な母子の相談に応じ、児童の保護と母子の自立を支援した。</p> <p>（評価）本年度のケースは措置には至らなかったが、対応できる体制は整っている。</p> <p>（回数・人数等）対象者0人</p>
	母子・寡婦福祉法関連事業		<p>修学資金など貸付制度の啓発に努めた。またひとり親家庭等の自立支援事業の啓発を行った。</p> <p>（回数・人数等）相談件数 29件 15人</p>
	ひとり親家庭生活支援事業		<p>ひとり親家庭等の各種手当の啓発に努め、生活支援を図った。</p>
	母子家庭自立支援給付金		<p>就業や仕事に役立つ経済的自立促進として、自立支援教育訓練給付や高等技能訓練促進費等の給付を行った。</p> <p>（評価）資格を取得できた受給者のほとんどが就労に結びついており、大いに効果が表れている。</p> <p>（回数・人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援教育訓練給付金 5人 ・入学支援修了一時金 3人 ・高等技能訓練促進費 11人

基本目標 2. 子育て支援のコミュニティ整備

主要課題 1. 子育てを支える地域活動の育成

項目	担当課	取り組み
① 地域子育てネットワーク事業	生涯学習課	声かけ運動や見守り運動をとおして、地域の支援体制の確立に取り組んだ。また、子育て意識の啓発・高揚を図るためフォーラムを実施した。 （回数・人数等） 声かけ、見守りは通年実施。 支援フォーラムは年1回、7月に実施。
	児童福祉課 (子育て支援センター)	市民に対して啓発活動を強化し、登録会員を増やして活動件数の増加を図った。 （評価） 登録会員が昨年度と比較して、45人増加しており、活動件数も増加している。 （回数・人数等） 依頼会員 396人、提供会員 126人 合計 522人
② 安全・安心のまちづくりの推進	青少年育成課	青少年健全育成連絡協議会や地域の団体、学校と協力し、子どもの見守り活動を実施した。 （評価） 地域ボランティアとの連携により、子ども達の登下校時の安全が図られた。 （回数・人数等） 各校区で通年実施。
	生涯学習課	市内各種団体が協力し、児童の登下校に通学路での見守り活動等を実施した。 （評価） 地域ボランティアとの連携により、子ども達の登下校時の安全が図られた。 （回数・人数等） 各校区で通年実施。
	危機管理室	市として防犯に対する取組姿勢を市民全体に示すため『高砂市明るい安全安心まちづくり市民大会』を開催した。 （評価） 警察をはじめとする各種関係団体との連携強化が図られており、開催は一定の効果을あげているといえる。 （回数・人数等） 参加者 約700人
③ つどいの広場の活用	児童福祉課 (子育て支援センター)	乳幼児を持つ親子が気軽に集い交流する場を提供する。また、地域の公民館に出向き、つどいの広場を開催した。 （評価） つどい広場を週3回開催した結果、参加者が昨年度より375人増加し、育児不安の解消の一助となった。 （回数・人数等） 136回 延べ4,770人

③	つどいの広場の活用	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>育児と遊びの訪問事業(遊びのキャラバン)として、就園前の子育て家庭を対象に、地域の自主サークルや親子の小グループの集まりに出向き、遊びの提供や子育てについて話し合える場を設け、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消を図った。</p> <p>(評価) 昨年度より実施回数が3回減となっているが、引き続き市内のニーズに応じた活動を実施することができた。</p> <p>(回数・人数等) 31回 延べ527人</p> <p>おはなしルームを開設し、絵本やお話の読み聞かせを通して子育てを実践し、親子同士の交流を図った。</p> <p>(評価) 昨年度より継続して子育て支援センターで実施、1日平均22人の参加があり、親子同士の交流を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <p>おはなしルーム 24回 延べ526人</p>
---	-----------	----------------------	---

基本目標 3. 就労と子育ての両立支援

主要課題1. 男女共同による子育ての推進

項目	担当課	取り組み
① 男女共同参画センター	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務において、安心して相談してもらうために相談機関との連携体制の強化を図った。 情報誌の発行、たかさご女性チャレンジひろば等による啓発事業を実施した。
		<p>(評価) 相談業務及び啓発事業が実施できたことについては、一定の効果が得られた。</p> <p>うち、「たかさご女性チャレンジひろば」の相談事業では、「女性のためのチャレンジ相談」により、再就職や起業への方向性を見つける支援ができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性問題カウンセラーによるこころの相談 645件 女性の弁護士による法律相談 50件 情報誌「cocot」の発行 1回 3,600部 情報誌「NEWS」の発行2回 6月号 250部 7月号 450部 女性のためのチャレンジ相談の開催 1回 2人
		<p>お父さん応援講座及び男性の料理教室を開催し、男性の意識改革の推進を図った。</p> <p>(評価) 講座開催の結果、参加者数については定員に達しなかったが、前年度に引き続き開催できたことについては、一定の効果が得られた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> お父さん応援講座の開催 1回 31人 男性の料理教室の開催 1回 13人
男性の家事・育児への参加の促進	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	<p>お父さん応援講座及び男性の料理教室を開催し、男性の意識改革の推進を図った。</p> <p>(評価) 講座開催の結果、参加者数については定員に達しなかったが、前年度に引き続き開催できたことについては、一定の効果が得られた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> お父さん応援講座の開催 1回 31人 男性の料理教室の開催 1回 13人
父親の育児への参加の促進	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>父親の子育て意識の高揚を図るため、父親講座を開催した。</p> <p>(評価) 子育て父親講座に参加することにより、父の子育て意識の醸成を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) 2回 延べ51人</p>
② 男女平等意識の高揚	学校教育課	<p>学校教育の様々な教育活動の中で、男女平等意識の高揚を図った。</p> <p>(評価) 道徳教育の中でも取り扱うことができた。</p>
	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>男女が共同で子育ての責任を持つことへの意識の醸成を図るため父親講座を開催した。</p> <p>(評価) 子育て父親講座に参加することにより、父の子育て意識の醸成を図ることができた。</p>

②	子育て体験集の発行	児童福祉課 (子育て支援センター)	子育てサークルの体験集を発行した。 (評価) 継続してサークル体験集を発行することで、子育ての楽しさを広く周知できた。 (回数・人数等) 1回 200部
	児童福祉週間事業	児童福祉課	市広報紙に掲載し、啓発を行った。 (評価) 広報紙で啓発を行ったのみで、市民に児童福祉週間の意図が浸透しなかった。 (回数・人数等) 広報紙掲載1回(5月号)

主要課題2. 子育てしやすい雇用環境の整備

項目		担当課	取り組み
①	育児休業制度の普及・促進	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	情報誌、労働関係パンフレットによる啓発を行った。 (評価) 男女雇用機会均等関係資料等を配置し啓発を行うことができた。
		健康増進課	母子健康手帳配布時に育児休業制度の説明を行い、制度の活用を促した(希望者)。 (評価) 希望者に制度の活用を促すことができた。 (回数・人数等) 60人
②	職業能力開発と技術・資格取得の機会の情報提供	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	労働関係パンフレットの配置し、また、資格関連図書の貸し出しを行い、情報の提供を行った。 (評価) 労働関係の情報提供が実施できたことについては、一定の効果が得られた。
	再就職を希望する者に対する情報の提供	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	ハローワーク加古川(マザーズコーナー)との連携による就職情報の提供を行った。 (評価) 1週間毎に求人情報の更新を行い情報提供が実施できたことについては、一定の効果が得られた。
	働く場での母性保護や健康に関する相談の充実	健康増進課	電話相談及び面接相談を行った。(随時) (評価) 相談等を通じて啓発を行うことができた。 (回数・人数等) 60人
③	労働時間の短縮	産業振興課	「ワーク・ライフ・バランス」に関する情報をホームページ等による周知を行った。 (評価) ワーク・ライフ・バランスに関する情報をおしごとステーションたかさごに掲載することにより事業者に対し周知を図ることができた。
	パートタイム、派遣労働者等の労働条件の向上	産業振興課	労働条件の向上に向けた関係法規の周知徹底を図るための啓発を行った。 (評価) 労働条件の向上に向けた関係法規(改正内容)等をおしごとステーションたかさごに掲載することにより事業者に対し啓発を図ることができた。

③	仕事と育児・家庭が両立できる制度の確立	産業振興課	マザーズハローワークの情報をホームページ等で紹介した。 (評価) おしごとステーションたかさごハローワーク加古川(マザーズコーナー)の情報が閲覧できるようにリンクすることより、子育て中の方にも求人情報の提供を図ることができた。
		市民活動推進課(男女共同参画センター)	ハローワーク加古川(マザーズコーナー)との連携による就職情報の提供を行った。 (評価) 1週間ごとに求人情報の更新を行い情報提供が実施できたことについては、一定の効果が得られた。
	仕事と育児・家庭が両立しやすい企業文化の普及	産業振興課	パンフレットによる啓発を行った。 (評価) 市内の事業者に対し、おしごとステーションたかさごに登録を呼びかけるパンフレットを送付することにより、登録事業者が増え、より多くの求人情報の提供に繋がった。 (回数・人数等) 登録事業者数100社(平成24年度に16社増)
			市民活動推進課(男女共同参画センター)

主要課題 3. 多様な保育サービスの充実

項目	担当課	取り組み
①	児童福祉課	入所希望者すべての受け入れに努めた。 (評価) 結果として待機児童ゼロとなった。
		民間保育所において、7時～19時までの延長保育を8園で、7時～20時までの延長保育を2園で実施した。 (評価) フルタイムで勤務する保護者に対して効果をあげている。 (回数・人数等) 1時間延長 16,783人 2時間延長 2,018人
		民間保育所7園において、一時預かりを必要とする児童の保育を行った。 (評価) 家庭の事情等で保育を必要とする家庭に対して支援することで効果をあげている。 (回数・人数等) 621人

①	子育て家庭短期入所事業	児童福祉課	<p>制度の啓発を行い、利用促進を図った。</p> <p>〔評価〕 利用件数が少なく、制度の啓発は不十分であった。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>利用者数2人 児童者数3人延べ10日</p>
	休日保育事業		<p>民間保育所1園で休日保育を実施した。</p> <p>〔評価〕 休日保育の受け入れにより、保護者の勤務状態への支障が軽減された。</p> <p>〔回数・人数等〕 6人</p>
	病児・病後児保育事業		<p>平成24年度は事業が休止されていたが、引き続き医療機関で病児保育を実施するよう調整を行った。</p> <p>〔評価〕 調整を行った結果、平成25年度から新たに医療機関で実施することとなり効果があった。</p>
②	保育所の整備・機能の充実	児童福祉課	<p>平成26年4月に民間移管を予定している米田西保育園の耐震補強工事を行った。</p> <p>平成26年4月に幼保一体化施設となる高砂西保育園を改修するための実施設計を行った。</p> <p>〔評価〕 民間移管・幼保一体化にむけて計画どおりに行えた。</p>
	幼稚園・保育所の統廃合等の推進	学校教育課	<p>高砂・北浜・伊保・米田地区で、新入園児保護者説明会を行った。</p> <p>伊保・米田地区で未就園児保護者説明会を行った。</p> <p>高砂・北浜地区で、役員説明会・高砂地区自治会工事説明会を実施した。</p> <p>また「望ましい幼児教育推進委員会」を開催した。</p> <p>〔評価〕 平成25年度から伊保地区と米田地区で統合が実現する。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>保護者役員説明会 高砂地区2回、伊保地区2回、米田地区2回、北浜地区2回、推進委員会2回</p>
		児童福祉課	<p>米田西保育園の民間移管の法人移管先を決定した。</p> <p>米田西保育園の保護者へ説明会を実施した。</p> <p>高砂・北浜・米田地区新入園児保護者への説明会を実施した。</p> <p>米田西幼稚園・伊保南幼稚園の保護者への全体説明会を実施した。</p> <p>望ましい幼児教育推進委員会を開催し方策等を協議した。</p> <p>中筋こども園・阿弥陀こども園の保護者を対象にアンケートおよび報告を実施した。</p> <p>〔評価〕 民間移管・幼保1体化に向けて計画どおり行えた。</p>

②	保育士の資質の向上	児童福祉課	<p>年間研修計画に基づき各種研修を行った。</p> <p>(評価) ワークライフバランス等の研修を行うことで、保育士の資質向上に役立った。</p>
	保育サービスの向上	児童福祉課	<p>公立保育所に導入した苦情処理の仕組みを活用していき、第三者評価システムについては検討を行った。</p> <p>(評価) 苦情処理を組織全体で解決する仕組みを活用することで、問題解決が円滑に行えた。</p>
③	学童保育所の公立化	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>NPO法人高砂キッズ・スペースと協議を行った。</p> <p>(評価) 現状を維持しているが、今後に向けて協議を継続していく。</p>
	学童保育所の環境整備		<p>学童保育所の良好な環境整備を推進した。</p> <p>(評価) 荒井小学校の学童保育所新築を進めることができた。</p>

基本目標 4. 健全育成に向けた教育の充実

主要課題 1. 家庭教育の推進

項目	担当課	取り組み
① 子育て学習活動	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>おはなしルームを開設し、絵本やお話の読み聞かせを通して子育てを実践し、親子同士の交流を図った。</p> <p>(評価) 昨年度より継続して子育て支援センターで実施、1日平均22人の参加があり、親子同士の交流を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) おはなしルーム24回 延べ526人</p>
② 青少年仲間づくり事業	青少年育成課	<p>他校区、世代間との交流を通じて、青少年の健全育成を図った。</p> <p>(評価) 各活動を通じて、子ども達の仲間づくりを図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) 1,684人</p>

主要課題 2. 生きる力を育む教育の推進

項目	担当課	取り組み
① 地域に開かれた幼稚園の推進事業	学校教育課	<p>子育て相談会、講演会を実施した。また、子育て相談日を設定した。</p> <p>(評価) 相談日が定着してきている。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談会：各園年間1回 相談日：各園年間12回程度
		<p>幼稚園・家庭・地域との連携を深め、地域に根差した幼稚園教育を推進した。</p> <p>(評価) ふれあい保育が定着してきている。</p> <p>(回数・人数等) ふれあい保育：10園で170回</p>
① 幼稚園・保育所の統廃合等の推進 (再掲)	学校教育課	<p>高砂・北浜・伊保・米田地区で、新入園児保護者説明会を行った。</p> <p>伊保・米田地区で未就園児保護者説明会を行った。</p> <p>高砂・北浜地区役員説明会・高砂地区自治会工事説明会を実施した。</p> <p>また、「望ましい幼児教育推進委員会」を開催した。</p> <p>(評価) 平成25年度から伊保地区と米田地区で統合が実現する。</p> <p>(回数・人数等)</p> <p>保護者役員説明会：高砂地区2回、伊保地区2回、米田地区2回、北浜地区2回、推進委員会2回</p>

①	幼稚園・保育所の統廃合等の推進 (再掲)	児童福祉課	<p>米田西保育園の民間移管の法人移管先を決定した。米田西保育園の保護者へ説明会を実施した。高砂・北浜・米田地区新入園児保護者への説明会を実施した。米田西幼稚園・伊保南幼稚園の保護者への全体説明会を実施した。望ましい幼児教育推進委員会を開催し方策等を協議した。中筋こども園・阿弥陀こども園の保護者を対象にアンケートおよび報告を実施した。</p> <p>(評価) 民間移管・幼保一体化に向けて計画通り行えた。</p>
	保・幼・小の連携	児童福祉課	<p>就学前教育と小学校との円滑な接続のため、積極的な連携を図った。</p> <p>(評価) 保育所と小学校が積極的な連携を取り合うことで、就学前児童の教育を円滑に進められた。</p>
学校教育課		<p>同じ小学校区の保育所と幼稚園が積極的な連携を図った。就学前教育と小学校との円滑な接続のため、積極的な連携を図った。</p> <p>(評価) 統合や一体化も進んでおり、意識は高い。 (回数・人数等)</p> <p>保・幼の連携：高砂地区6回、荒井地区3回、伊保地区4回、曾根地区5回、米田地区12回、北浜地区9回 (うち、どの地区も1回以上保・幼・小の連携)</p>	
②	豊かな体験活動の推進	学校教育課	<p>次世代の親となる中学生に、幼児とのふれあいや子育ての楽しさや意義を学習する機会づくりとした。</p> <p>(評価) 中学生にとっては自分を振り返る重要な体験になっている。 (回数・人数等) 市内6中学校</p>
	健全な心身を育てる教育の推進	学校教育課	<p>特別活動・総合的な学習の時間帯において、環境体験学習、自然学校、トライやる・ウィーク等の体験活動を実施した。</p> <p>(評価) どの体験活動も充実している。 (回数・人数等)</p> <p>環境体験学習3年、自然学校5年、トライやる・ウィーク中2(全員)</p>
	豊かな教育環境の設備整備	教育総務課	<p>学校施設の必要な修繕を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>耐震補強工事(中学校2校)と耐震補強設計(中学校1校)を行った。</p> <p>荒井幼稚園園舎改築工事と北浜幼稚園園舎改築工事実施設計を行った。</p>

②	豊かな教育環境の設備整備	学務課	重点的に、小学校各校の図書の実充を図った。 (評価) 小学校図書充足率は61.8%で前年度末より4.9%向上した。											
	少子化問題の啓発	児童福祉課	次世代育成支援行動計画地域協議会を開催し、少子化問題についても協議した。 (評価) 開催時期が遅く、新年度の計画の周知が遅れた。											
③	フィルタリング利用の普及啓発	青少年育成課 (青少年補導センター)	子ども達が利用する携帯電話のフィルタリングについて、普及啓発に努めた。 (評価) 各校区にサイバーパトロールののぼりを設置し、子ども達がインターネット被害に遭わないように未然防止を図られた。 (回数・人数等) 各校区で通年実施。											
		市民活動推進課	市内小・中学校 16校の小学5・6年生、中学1年生を対象に、又、市内小・中学校の教員、市職員を対象に、専門講師を派遣してインターネットトラブル防止啓発講座を実施し、同時にトラブル相談窓口である高砂市消費生活センターの啓発を行った。 (評価) 昨年度は中学校6校であったが、今年度は、小学校10校についても講座の開催ができたことについては、大いに効果が得られた。 (回数・人数等) <table border="0"> <tr> <td>中学校</td> <td>6校</td> <td>954人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>10校</td> <td>1,868人</td> </tr> <tr> <td>教員対象</td> <td>1回</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>市職員対象</td> <td>1回</td> <td>70人</td> </tr> </table>	中学校	6校	954人	小学校	10校	1,868人	教員対象	1回	48人	市職員対象	1回
	中学校	6校	954人											
小学校	10校	1,868人												
教員対象	1回	48人												
市職員対象	1回	70人												
情報モラル教育の推進	学校教育課	児童生徒の発達段階に応じ、情報を主体的に選択・活用できる能力や、情報社会に参画する態度等の育成を図った。 (評価) 重要な分野だと位置づけている。 (回数・人数等) 講演会等：10小学校・6中学校で実施												

主要課題3. 多様な体験・交流活動の推進

項目	担当課	取り組み						
① 図書館事業	図書館	毎月、おはなし会、えほんのじかんを行い、子どもに本の楽しさを伝え、子どもの想像力を豊かにし、心の育成を図った。 (評価) 昨年度と比較して、参加者数はほぼ同じで、事業として定着していると考えられる。 (回数・人数等) <table border="0"> <tr> <td>・えほんのじかん等</td> <td>11回</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>・おはなし会</td> <td>12回</td> <td>128人</td> </tr> </table>	・えほんのじかん等	11回	94人	・おはなし会	12回	128人
・えほんのじかん等	11回	94人						
・おはなし会	12回	128人						

①	みのり会館事業	みのり会館	<p>図書室を子どもに解放した。 書道教室（2 教室）を実施し、子ども同士の交流を図った。</p> <p>（評価）図書室の利用者は若干増加した。書道教室は計画のとおり実施した。このような機会を提供することで、子ども同士の交流を図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用者 750人 ・書道教室 84回
	体育館スポーツ教室	文化・スポーツ課 （施設利用 振興財団）	<p>小学生スポーツ教室（柔道・陸上・バレーボール・ラグビー教室）を5月～3月に実施した。</p> <p>（評価）子どものスポーツ機会の充実を図り、レベルの向上や多年齢の子どもとの交流ができた。</p> <p>（回数・人数等）各教室30回</p>
	平和教育事業	総務課	<p>8月に本庁舎市民ギャラリー「あいぽっと」にて、広島・長崎の原爆のポスター展を開催し、平和の尊さ、平和を守ることの大切さを推進した。また、期間中に核兵器禁止条約の交渉開始等を求める要請書への署名活動も行った。</p> <p>（評価）来場者が年々横ばいとなっていることから、市民への広報を積極的に行う必要がある。</p> <p>（回数・人数等）約100人</p>
	姉妹都市との交流事業	文化・スポーツ課 （国際交流協会）	<p>海外姉妹都市交流事業として親善大使を派遣し、水泳を通しての交流を行った。</p> <p>（評価）ラトローブ市において、水泳を通しての交流やホームステイにより異文化体験をするとともに、現地のラジオ出演やウェルカムパーティーでの謡曲「高砂」の発表など、高砂市の紹介をすることができた。</p> <p>（回数・人数等）中学生8人</p>
	エコ教室事業	環境政策課	<p>地域に根差した環境学習の場づくりを推進するため、市内事業者の協力を得て、小・中学校でエコ教室を実施する。</p> <p>（評価）1月に電気自動車を導入し、それをういてエコ教室を実施した。昨年度は1校のみの実施だったが、今年度は4校の小学校で実施し、環境教育が推進できた。</p> <p>（回数・人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ教室 6回 ・小学生 延べ355人
	青少年仲間づくり事業 （再掲）	青少年育成課	<p>他校区、世代間の交流を通じて、青少年の健全育成を図った。</p> <p>（評価）各活動を通じて、子ども達の仲間づくりを図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）1,684人</p>

①	インターンシップの受け入れ	人事課	<p>「勤労体験」「職業体験」活動の場として高校生の受け入れを実施した。</p> <p>〔評価〕市役所を就業体験の場とすることで、生徒が勤労の意義や社会とのかかわり、進路等について考える一助となった。</p> <p>〔回数・人数等〕1人</p>
	高齢者との交流事業	学校教育課	<p>特別活動、総合的な学習の時間、生活科の時間等に交流活動を行った。</p> <p>〔評価〕福祉教育と位置づけている。</p> <p>〔回数・人数等〕10小学校、6中学校で実施。</p>
	歴史体験の充実	生涯学習課	<p>小学生の親子を対象に、「まが玉づくり」、竜山石を使った「自由研究・石割体験」等の講座を実施した。また、教員対象の講習会を実施し、各学校に資料貸出を行った。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>夏休みを利用して歴史体験を実施した。 参加者は親子合わせて148人</p>
		文化スポーツ課	<p>工楽松右衛門没後200年記念イベントとして、松右衛門帆布を使ったイベントを実施した。</p> <p>①小学生を対象に、夏休み親子文化体験教室～松右衛門帆布に描こう～において親子でステンスルや工楽松右衛門の銅像見学を行った。</p> <p>②市子ども会リーダー育成研修会（小学校高学年対象）において、松右衛門帆布を使った帆船づくりを行った。</p> <p>③各中学校において、松右衛門帆布を使って体育大会のクラス旗の作成や絵画の模写等を行った。</p> <p>④市内公立高校（高砂・高砂南・松陽）の美術部に依頼し、松右衛門帆布に「高砂三十六景」として市内の名所・旧跡の絵を描いてもらった。</p> <p>〔評価〕松右衛門帆布に触れ、絵を描くことにより、高砂ゆかりの人物である工楽松右衛門とその功績を学ぶことができた。</p> <p>また、万灯祭やあいぽっと、文化会館展示コーナー等さまざまな場所で展示をし、成果を発表することができた。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>①55人②69人③2,887人④36人</p>
	環境教育	学校教育課	<p>農業体験等、環境体験学習を各小学校で実施した。</p> <p>〔評価〕体験活動として成果を上げている。</p> <p>〔回数・人数等〕小学校3年全員</p>
乳幼児とのふれあい体験の推進	学校教育課	<p>総合的な学習の時間やトライやる・ウィーク等の機会を利用し、ふれあい体験を行った。</p> <p>〔評価〕体験活動として成果を上げている。</p> <p>〔回数・人数等〕中学校1・2年</p>	

①	乳幼児との ふれあい体験の推進	児童福祉課	高校生と園児との体験交流を保育所で行う。中学生のトライやる・ウィークを保育所で受け入れ、ふれあい体験を行った。 (評価) 異世代との関わりをもつことで、児童の健全な育成に効果があった。
	子どもたちの見守り活動 と世代間交流事業	青少年育成課	異年齢、世代間の交流を通じて、青少年の健全育成を図った。また、児童の安全を守るため、見守り活動を実施した。 (評価) 様々な交流事業を通じて、子ども達の健全育成を図ることができた。 (回数・人数等) 各校区で通年実施
②	子ども会活動への助成	青少年育成課	子ども会活動の運営活動費を助成した。 (評価) 充実した活動を図ることができた。 (回数・人数等) 1, 185人
	児童健全育成活動自主サークルへの支援	児童福祉課 (子育て支援センター)	子育て支援センターの活動場所の提供、出前講座を開催した。 (評価) 昨年度より実施回数が3回減となっているが、市民のニーズに応じた活動を実施できた。 (回数・人数等) 31回 527人 母親クラブの自主活動に経費の一部を助成した。 (評価) 母親クラブに助成することで、地域での安全点検や、環境整備を図ることができた。 (回数・人数等) 1クラブ

主要課題4. 学校と家庭・地域社会の連携

	項目	担当課	取り組み
①	学校施設の活用	教育総務課	学校運営上支障がない限り、地域住民や子どもたちの交流促進の場として運動場、体育館等を提供した。
②	開かれた学校づくりの推進	学校教育課	オープンスクールを実施し、保護者や地域住民に園・学校を開いた。 (評価) オープンスクールは定着してきている。 (回数・人数等) ・10小学校：延べ41日 ・6中学校：延べ30日
		生涯学習課	放課後に子どもが安心して活動できる場の確保のため、「放課後子ども教室」を実施した。 (回数・人数等) 小学校児童を対象として、学習や体験活動を通年実施。

基本目標 5. 地域での生活環境の整備

主要課題1. 子どもと子育てに配慮したまちづくりの推進

項目	担当課	取り組み	
①	公園・緑地の整備	<p>建設課</p> <p>公園・緑地の施設の修理を行った。</p> <p>(評価) 適切な修理を行った結果、事故がなかった。</p>	
	自然とふれあえる環境の整備	建設課	<p>市ノ池公園のバーベキューサイトで親子の交流を図った。</p> <p>(評価) バーベキューサイトにおいて、親子の交流を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等) 年間</p>
		産業振興課	<p>鹿島・扇平自然公園にて、子どもが自然とふれあえる場を整備した。</p> <p>(評価) 鹿島・扇平自然公園の草刈りを実施することにより、子どもが自然とふれあう場を提供することができた。</p> <p>(回数・人数等) 年2回草刈り実施。</p>
	遊び場の充実	建設課	<p>公園の管理委託を行った。</p> <p>(評価) 公園を適切に管理することにより、機能を維持することができた。</p> <p>(回数・人数等) 年間</p>
	乳幼児に配慮した事業の実施	児童福祉課 他	<p>授乳コーナー等の設置を啓発した。</p> <p>(回数・人数等) 市内5か所設置</p>
市民活動推進課 (男女共同 参画センター)		<p>講座等への一時保育のため保育士の派遣を行った。</p> <p>(評価) 講座等への参加を促進するため、一時保育付きで参加できるよう支援することができた。</p> <p>(回数・人数等) 延べ 15人</p>	
②	土地区画整理助成事業	<p>建設課</p> <p>良好な宅地供給・住環境をめざす、組合施行区画整理事業について検討した。</p> <p>(評価) 区画整理事業の実現に向けての計画を策定中である。</p> <p>(回数・人数等) 計画のみで実績なし。</p>	
	福祉のまちづくり事業	<p>建設課</p> <p>福祉のまちづくり事業として予算化はしていないが歩道、公園の安全対策を行った。</p> <p>(評価) 歩道、公園の安全対策を行った結果、事故を防ぐことができた。</p>	

主要課題2. 子どもの安全の確保

項 目	担当課	取り組み	
①	防犯体制の充実	学校教育課	<p>教職員を対象に不審者対応訓練を実施した。</p> <p>（評価）安全安心に対する意識が向上した。</p> <p>（回数・人数等）各園・各学年において実施。</p>
		青少年育成課 （青少年 補導センター）	<p>学校危機対応ハンドブックを活用して、教職員を対象に不審者対応訓練を実施した。</p> <p>（評価）不審者発生時への緊急措置を講じる教職員体制を図ることができた。</p> <p>（回数・人数等）各学校・園において実施。</p>
		市民活動推進課	<p>自治会活動を通して地域の防犯体制の充実など、環境づくりを推進するための啓発を行った。</p> <p>（評価）地域の防犯体制の充実を図ることができた。</p>
		危機管理室	<p>市民の安全安心な生活環境を守るとともに、登下校時の児童見守り活動を支援するため「青色防犯パトロール」を実施した。</p> <p>（評価）事案発生時など、全庁一体となってパトロール体制の強化を図るなどの対応を行っており、防犯体制の充実に努めているといえる。</p> <p>（回数・人数等）796回 12,027km</p>
		児童福祉課	<p>保育所職員に不審者対策の研修や訓練を実施し、園児への安全教育を充実する。</p> <p>（評価）不審者対応における危機管理意識と児童を預かる責任を、保育士に再認識させることができた。</p> <p>保育所等緊急通報システム推進事業として、緊急時に保護者への情報発信をスムーズに行い、園児の安全安心の子育て支援を行う。また、子育て相談窓口など、保育所が子育て支援の拠点となり安心して子育てができるよう支援を行った。</p> <p>（評価）台風等の天災に対して、即座に情報発信ができ、安心した子育て支援を行うことができた。</p>
		教育総務課	<p>幼稚園等緊急通報システム推進事業として、緊急時に保護者への情報発信をスムーズに行い、園児の安全安心の子育て支援を行った。</p> <p>（評価）台風等の天災に対して、即座に情報発信ができ、安心した子育て支援を行うことができた。</p>
防犯灯の設置	建設課	<p>地域住民の意見を聴きながら、暗い通りや見通しのきかないところへの防犯灯を設置した。</p> <p>（評価）防犯灯を設置することにより、安全を確保することができた。</p>	

②	交通安全教室	管理課 (まちづくり)	<p>保育所・幼稚園26園、小学校10校、中学校5校、高校2校等を対象に交通安全教育を行った。</p> <p>(評価) 昨年度と比較して回数・人数とも増え、交通事故防止に一定の効果あげている。</p> <p>(回数・人数等) 54回 6,598人</p>
	交通安全の普及・啓発事業	管理課 (まちづくり)	<p>子どもの安全を守るため、チャイルドシートの啓発を行った。また、保育所・幼稚園出入口の飛び出し防止シールの老朽箇所を貼り替えた。</p> <p>(評価) 園児の飛び出し防止に効果をあげている。</p> <p>(回数・人数等) 飛び出し防止シール 18枚貼付</p>
	道路の整備	建設課	<p>高砂102号線、塩市・宝中前準幹線道路の道路改良により歩行空間の整備を実施した。</p> <p>(評価) 道路を改良することにより、歩行者の安全を確保することができた。</p>

主要課題3. 子どもの事故防止

項目	担当課	取り組み
① 子どもの事故防止に関する普及・啓発	児童福祉課	家庭内や屋外で起こりうる子どもの事故防止について、対策・防止方法などの普及・啓発に努めた。
	健康増進課	<p>乳幼児健診や要支援家庭等の訪問時に、事故防止パンフレットを配布し指導するなど、子どもにとって安全な環境づくり、安心して子育てできる環境づくりのための啓発を行った。</p> <p>(評価) 指標的なものはないので評価しにくいですが、保護者の関心は高い。</p>

基本目標 6. 安心して生み育てることができる環境の整備

主要課題 1. 母子保健医療体制の充実

項目	担当課	取り組み
乳児保健相談、 1歳6か月児健康診査、 3歳児健康診査		<p>乳児・1歳6か月児・3歳児健診を毎月行った。内容は身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、保健師・栄養士・歯科衛生士等による育児相談を実施した。</p> <p>(評価) 毎月乳幼児健診を行い、育児相談を実施することで、フォローが必要な児に関しては、フォローの教室を促し、適切な関係機関につなげた。また、家庭訪問をし、育児不安を辿るとともに、疾病の早期発見・早期治療につなげることができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保健相談 12回 687人 ・1歳6か月児健診 12回 767人 ・3歳児健診 12回 720人
① 子どものこころの相談	健康増進課	<p>1歳6か月児健診・3歳児健診時に、心理相談員が保護者の育児不安についての相談を個別に対応した。</p> <p>(評価) 育児不安がある保護者の不安軽減につながった。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診 12回 54件 ・3歳児健診 12回 44件
養育支援家庭訪問事業		<p>妊産婦等訪問指導として、妊婦及び産婦の家庭訪問を行い、健康状態の把握、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。</p> <p>(評価) 希望される妊産婦のうち、連絡がとれた妊産婦については、適切な指導を行うことができた。</p> <p>(回数・人数等) 妊婦訪問指導 随時 521人</p> <p>新生児等訪問指導として、母親及び新生児の健康状態を把握し、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。</p> <p>(評価) 新生児等訪問指導の希望者には全員訪問できた。</p> <p>(回数・人数等) 新生児等訪問指導 随時539人</p>

<p>育児の不安解消、 発達に不安のある乳幼児 を持つ保護者への育児支 援の充実</p>	<p>健康増進課</p>	<p>毎月1回、妊婦・1歳までの乳児の親を対象に、母親同士の交流の場づくりやテーマを決めて健康教育を実施した。また保健師・助産師・歯科衛生士・栄養士等の専門職による各種個別相談を行い育児支援の充実を図った。</p> <p>〔評価〕毎月盛況でトレーニング室に入りきらない状態にあり、母親同士の交流の場にもなっており、成果は上がっている。</p> <p>〔回数・人数等〕ひだまりサロン 12回 828人</p> <p>1歳6か月児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどもとのかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育所等との連携を実施した。</p> <p>〔評価〕あそびや集団ですごす時間を通して子どもの成長を促し、参加した母親の育児不安の軽減につながった。</p> <p>〔回数・人数等〕 おかあさんの育児教室 12回 331人</p> <p>3歳児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどもとのかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育所等との連携を実施した。</p> <p>〔評価〕あそびや集団ですごす時間を通して子どもの成長を促し、参加した母親の育児不安の軽減につながった。</p> <p>〔回数・人数等〕きらりんクラブ 12回186人</p>
<p>乳幼児相談 (電話・面接・家庭訪問)</p>	<p>健康増進課</p>	<p>保健師等が電話及び面接、家庭訪問により相談を行った。</p> <p>〔評価〕乳幼児の健康のことや育児の相談を受け、育児不安の軽減につながった。</p> <p>〔回数・人数等〕随時</p>
<p>妊婦・出産に関する安全性 と快適さの確保と不妊への 支援</p>	<p>健康増進課</p>	<p>養育支援ネットを推進し、医療・保健・福祉の連携強化を図り、早期支援を目指した。</p> <p>〔評価〕母性や健康について啓発を行うことができた。</p>
<p>妊婦健康診査費助成事業</p>	<p>健康増進課</p>	<p>妊婦健診に係る費用の一部を助成した。</p> <p>〔評価〕費用助成により妊婦の健康管理への一助となっている。</p> <p>〔回数・人数等〕随時 808人</p>
<p>こんにちは赤ちゃん 訪問事業</p>	<p>健康増進課</p>	<p>生後4か月未満の赤ちゃんのいる家庭に訪問スタッフ(母子保健推進員など)が子育てに役立つ情報誌と予防接種手帳、プロフィールファイルたかさを持って訪問した。</p> <p>〔評価〕同意書のとれた対象者に訪問をすることで、早期に情報提供を行うことができた。</p> <p>〔回数・人数等〕随時 570人</p>

主要課題2. 地域医療体制の整備

項目	担当課	取り組み
① 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 かかりつけ医の体制整備	健康増進課	事故防止の健康教育の実施と「子どもの急病対応ガイドブック」の配布により急病時の対応を啓発した。 〔評価〕機会を捉えて啓発を行うことができた。
		乳幼児健診、ひだまりサロン等で啓発を行った。 〔評価〕機会を捉えて啓発を行うことができた。
② 一次救急医療 二次救急医療	健康増進課	夜間急病センター、休日・祝日等の救急医療体制の推進を医師会等の協力を得て推進した。 〔評価〕2市2町（耳鼻咽喉科は明石も）の医師会等の協力により救急医療体制が整備され、実施された。
		小児科二次救急医療体制について関係機関と調整及び連携を図った。 〔評価〕3市2町の医師会等の協力により救急医療体制が整備され、実施された。

主要課題3. 思春期保健対策の充実

項目	担当課	取り組み
① 思春期の児童に対する保健、健康教育	健康増進課	禁煙のポスターの掲示等、禁煙フォーラム開催の協力をした。 〔評価〕2月24日（日）高砂、加古川医師会による禁煙フォーラムが実施され、啓発することができた。
	学校教育課	性教育やたばこの害などの健康教育を実施した。 〔評価〕意識向上のため、さらに継続実施する必要がある。 〔回数・人数等〕各学校において実施。
② スクールカウンセラーの配置（再掲）	学校教育課	県配置校以外の6小学校を対象に市単独でスクールカウンセラー（SC）を1名配置し、児童及び保護者の相談に応じた。 〔評価〕急を要する相談にも対応できている。 〔回数・人数等〕県SCも含め市内小学校10校の相談件数は284件

主要課題4. 食育の推進

項 目	担当課	取り組み
① 食生活に関する知識の普及・啓発	健康増進課	<p>離乳食の初・中期と後期・完了期の学習及び調理実習を行った。 参加者には仲間作りができるよう配慮した。</p>
		<p>〔評価〕実習までしている市町は少ないという中、保育室も備え、いずみ会の協力も得て普及・啓発することができた。 〔回数・人数等〕もぐもぐの会 5回 53人</p>
		<p>親子で調理実習をすることで、「食」への関心をたかめ、食育について学ぶ機会とした。</p>
		<p>〔評価〕いずみ会の協力も得て普及・啓発することができた。 〔回数・人数等〕とんとんコトコトの会 4回 67人</p>
② 食を通じた豊かな人間性の形成	学務課	<p>地産地消を学校に取り入れた。 栄養教諭による授業研修会を実施した。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消 市内10小学校 ・授業研修会 1回
	学校教育課	<p>食育全体計画をもとに、給食指導、家庭科及び特別活動の学習を通じて、食育の推進を図った。</p> <p>〔評価〕意識向上のため、さらに継続実施する必要がある。 〔回数・人数等〕各学校の計画による。</p>
	児童福祉課	<p>給食を充実させることにより、園児・児童の心身の健全な発育を促した。また、地産地消に取り組み、旬の食材を給食に用い保護者にも啓発した。園内などで野菜栽培を行い、収穫の喜びを通じた食育を行った。</p> <p>〔評価〕高砂市の名物「いかなご」を取り入れることで、旬の食材への意識をさらに深められた。自ら育てた食材を使う料理教室で、作る喜びと食べる喜びをさらに理解してもらうことができた。</p>
	児童福祉課	<p>食育出前事業（食育キャラバン）として、就学前児童及びその保護者を対象に、各公立保育所を巡回し、食に関する知識の提供や地域子育てグループの食体験など出前講座を実施し、様々な体験を通じて食への関心を高めた。</p> <p>〔評価〕食育出前講座を多数行うことで、参加者に食育の重要性を伝えることができた。</p>

主要課題5. 障がいがある子どもとその親への支援体制の充実

項 目	担当課	取り組み
① 療育相談	健康増進課	<p>乳幼児等のからだ・こころ・ことばの相談を毎月2回実施。小児科医の診察及び助言、保健相談・栄養相談・心理相談・理学療法相談等を継続することにより、母親の育児を支援した。</p> <p>(評価) 24回実施し、母親に対し、育児の支援を行うことができた。</p> <p>(回数・人数等) 24回 346人</p>
	健康増進課	<p>心理士等専門職による保育所等への巡回相談や保育所等職員への相談を行うことにより発達に気になる子どもへの支援を行った。</p> <p>(評価) 2年目の事業となり、保育所との連携もこの事業のみだけでなく、随時、子どもへの対応を相談できる体制の充実を図ることができた。</p> <p>(回数・人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子教室 17回 32件 ・巡回相談 39回 129人
	児童福祉課 (子育て支援センター)	<p>発達支援サポーター養成講座を開催した。</p> <p>(評価) 養成講座開催3年目の事業で、23人の修了者ができた。</p> <p>(回数・人数等) 5回 37人 延べ138人</p>
	児童福祉課	<p>ことばや発達の面で、気がかりなところのある子どもの療育相談を行う「マミーサポート」を昨年に引き続き実施した。</p> <p>(回数・人数等) 2人</p>
	障がい・地域福祉課	<p>障がい者相談支援事業の一環として相談に対応した。</p> <p>(評価) ひょうご発達支援センターの開設に伴い、電話や窓口における発達障がいに関する相談や照会が増えている(件数のカウントはできていない)。</p> <p>(回数・人数等) 60回 延べ40人</p>
	児童福祉課 (再掲)	<p>プロフィールファイルたかさごを生まれた子ども等の保護者に配布をした。</p> <p>(評価) 子どもの成長を記録するツールとして配布し、発達障がい等の早期発見に繋がる環境整備を推進できた。</p> <p>(回数・人数等) 597件</p> <p>※こんにちは赤ちゃんの配布数を含む。</p>

①	特別支援教育	児童福祉課	<p>障がい加配保育士を配置し、発達段階に応じた指導の充実を図った。</p> <p>〔評価〕保育所に入所する障がい児に対しても専属の保育士を配置することで、児童にあった療育ができると共に、就労する保護者の支援も行うことができた。</p>
		学校教育課	<p>障がい加配、介助員、スクールアシスタント(SA)を配置し、一人一人に応じた指導の充実を図った。</p> <p>〔評価〕学校の要望に応じて配置することができた。</p> <p>〔回数・人数等〕</p> <p>障がい加配 11 人、介助員 13 人、SA 15 人</p>
		教育総務課	<p>障がいがある子どもが、利用しやすい設備や施設の充実を図った。</p>
①	言語発達相談事業	障がい・地域福祉課	<p>言語発達遅滞に関する相談や言語発達訓練等に要する費用の一部を補助した。</p> <p>〔評価〕広報たかさご4月号、10月号に補助制度のお知らせを掲載することで周知を図り、利用につなげることができた。</p> <p>〔回数・人数等〕延べ 150 人</p>
②	児童発達支援センター (高砂児童学園)	児童福祉課	<p>児童学園に通園する児童が安全に療育を受けられるように、施設の機能の充実を図った。</p> <p>〔評価〕施設の補修等を行うことで、障がいを持つ児童の療育を効率よく行うことができた。</p> <p>〔回数・人数等〕入所児童 30 人</p>
	心身障害児生活訓練指導		<p>理学療法士による児童学園に通園する心身障がい児に対する生活訓練指導を行った。</p> <p>〔評価〕理学療法士による生活指導を行うことで、障がいのある児童の発育支援に効果があった。</p>
	ホームヘルプサービス	障がい・地域福祉課	<p>居宅介護サービス費を給付した。(人数は者を含む。)</p> <p>〔評価〕年々利用者数・利用時間数ともに増えている。</p> <p>〔回数・人数等〕延べ 930 人</p>
	デイサービス		<p>児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス費を給付した。</p> <p>〔評価〕本年度より、従前の児童デイサービス事業が法改正によりよりきめ細かな充実したサービス体系となり、事業所数も増えたことから、利用者数が倍増した。</p> <p>〔回数・人数等〕延べ 805 人</p>

②	ショートステイ事業		短期入所費を給付した。(人数は者を含む) (評価) 年々利用者数・利用時間数ともに増えている。 (回数・人数等) 延べ 333 人(障がい者含む)
	サマーデイ事業		平成 24 年度は事業実施無し
③	療育会議	障がい・地域福祉課	療育会議の企画及び実施をした。 (評価) 児童福祉課(サポートファイル)・健康増進課(5歳児相談)・学校教育課(スクールカウンセラーほか)の報告を受け、本市の支援体制の確認を行った。 (回数・人数等) 平成 25 年 1 月 28 日開催
		健康増進課	療育会議に参加した。 (評価) 各部署の取り組みの情報が共有できた。 (回数・人数等) 平成 25 年 1 月 28 日開催
		学校教育課	療育会議に参加した。 (評価) 他の機関と連携を深める良い機会となっている。 (回数・人数等) 平成 25 年 1 月 28 日開催
		児童福祉課	療育会議に参加し、障がい児の療育支援について関係機関と協議を行った。 (評価) 互いの持つ情報を共有し、療育支援体制の構築を図ることができた。 (回数・人数等) 平成 25 年 1 月 28 日開催
④	特別児童扶養手当の給付	児童福祉課	広報紙に掲載するなど、制度の啓発に努めた。 (評価) 前年度に比べ、受給者は 3 人増加しており、僅かではあるが、啓発の効果はある。 (回数・人数等) 受給者資格者数 215 人
	障害児各種手当の給付	障がい・地域福祉課	障害児福祉手当を支給した。 (評価) 支給が見込まれる人に対しては制度の説明をするとともに、更新者には事前に通知することにより、申請漏れを防いだ。 (回数・人数等) 延べ 803 人
	障害者医療費の助成	国保医療課	重度障がい児(者)を対象として、医療費に係る一部負担金の助成を行った。 (評価) 保護者等の経済的負担の軽減を図ることができた。 (回数・人数等) 受給者数 937 人(障害者医療制度全体)
	介護用具器具の助成(日常生活用具)	障がい・地域福祉課	障がい児に係る日常生活用具を給付した。 (回数・人数等) 延べ 2,228 人(障がい者含む) (介護用装具の助成【補装具】) 障がい児に係る補装具を給付した。 (回数・人数等) 延べ 33 人